

學 校 體 育 叢 書

東京高等師範學校教授 文部省檢定試驗委員 **大谷武一** 著 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

第二學 校 體 育 概 論

文檢受驗者 唯一無二の 必讀要書!!

先づ學校體育の目的論から書き起し、體操科の各種教材を文部省體操教授要目に準據して説明し、課外指導、課外體操、(各所の社會的體操)を述べ、殊に瑞典式醫療體操の實際は、現今漸やく暗ましい各種矯正運動の原理並に實際を示すものである。次に國際の體育運動についてソール運動、オリムピック競技を舉げて、體育家のみならず、一般國民に對する強い反省と努力を求めてみろく競技を最けて、澤市の體育施設は、各體育家の參考ともなり刺戟ともなる事であらう。

東京女子高等師範學校助教授 **宮田 覺** 著 第一學 校 體 操 の 教 授 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

文部省檢定試驗委員 **三浦 ヒロ** 著 第三 行 進 遊 戲 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

東京高等師範學校助教授 **安田 弘** 著 第四 運 動 の 施 設 經 營 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

大日本體育學會理事 **二宮 文** 著 第五 中 心 體 操 指 導 法 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

東京高等師範學校助教授 **中島 海** 著 第六 小 學 校 體 育 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

附屬小學 校長 **藤村 トヨ** 著 第七 學 校 體 育 論 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

日本女性體育研究會長 **佐々木 等** 著 第八 球 技 指 導 法 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

東京高等師範學校教授 **野口 源三郎** 著 第九 陸 上 競 技 指 導 法 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

東京高等師範學校教授 **森本 義一** 著 第十 學 校 教 練 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

陸軍省師範學校事務局 **多田 德雄** 著 第二 排 球 競 技 法 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

神戶商科大学講師 **梯次郎** 著 第三 於ける體操の傾向 菊判洋綴紙數四百餘頁 定價二圓五十錢送料廿二錢

發行所 東京市牛込區 中 文 館 書 店 電話 振替 東京 三三三 八三三 四二二 七二五 番

生徒募集

本科生 四十名
研究生 若干名

願書受付 昭和九年十二月一日ヨリ
昭和十年三月二十日迄
規則書は貳錢切手封入の上申込まれよ。

玉成保姆養成所

所長 ソフアヤ・アラベラ・アルウ井ン

東京市杉並區西高井戸一丁目一三三
省線西荻窪下車直南約五丁

創立以來二十年。
大正五年東京市麴町區に創立。
昭和二年武藏野の中なる現在地に新築、
附近に森あり、野あり、川ありて四時自
然の恩恵を受け、本校の特色とする自然
觀察、博物採集、圖畫寫生、自然物應用
の手工等材料豊富なり。

生徒募集

募集人員百名

出願期限

自二月一日
至三月末日

無試験檢定ノ特典アリ

規則書ハ二錢切手封入申込マレタシ

東京市杉並區高圓寺三丁目二九八聖心學園内
西武電車及青バス妙法寺口下車(電話中野二四八四)

東京保姆專修學校

校長 ジー・マイエ

生徒募集

本科生 五十名 書間の授業です

聴講生 十名 夜學ではありません

出願期日 三月末日限り

規則請求 二錢切手封入して御請求下さい

東京目白保姆學校

校長 和田 實

位置 淀橋區下落合三丁目一、三八八

(目白驛下車西方ニ約五丁)

電話 落合長崎五五九番

生徒募集

一本 科 七十名

一研究 科 若干名

右 募 集 ス

出願期限 二月一日ヨリ三月廿五日迄

規則書入用ノ方ハ二錢切手封入申込マルベシ

東京市品川区大井原町五二〇八

東京昭和保姆養成所

所長 土川五郎

顧問兼講師 倉橋惣三

授業時間

自 午後一時

至 午後五時

保姆科生徒募集

無試験檢定認可

一、募集人員 四十拾名

一、出願期日 自二月一日 至三月卅一日

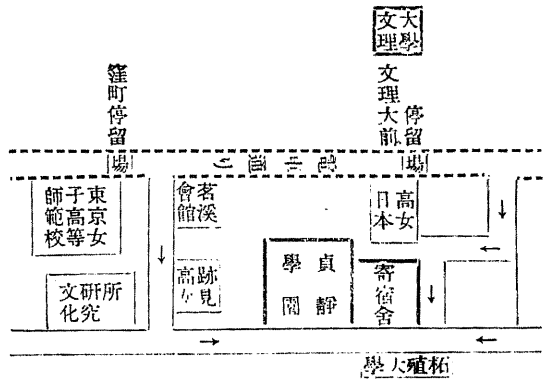
一、本所の特長

- 1、非常に環境に恵まれたる閑静な然も便利な所 附近に各大學兩高師あり優秀なる教授揃ひ
- 2、理想的幼稚園ありて充分なる實習の實を挙げしむ
- 3、他に類例なき新研究としてリトミックの教授をなす (巴里歸朝せる先生)

東京市小石川區大塚町六八番地
(市電文理科大學前又ハ大塚窪町下車)

貞靜幼稚園保姆養成所

所長 高橋 滿喜



童話募集

新年號で發表致しました募集童話皆様御力作を續々お寄せ下さいます、
締切が迫りました、どうぞ廣く多數の方々御應募下さいませ。

日本幼稚園協會

募集規定

- 一 應募作は幼兒童話であること、内容は任意但し在來の童話の改作はお受けしませぬ。必ず創作のこと(舊作にてもよろし)
 - 一 應募篇數任意
 - 一 原稿用紙にペン書のこと(挿繪、カット等入れるも可)尙、原稿は一切返却せず
 - 一 應募者は宿所氏名(誌上匿名隨意)、奉職園(校)名明記のこと
 - 一 宛名 日本幼稚園協會童話研究部
 - 一 締切 昭和十年二月末日
 - 一 選 本協會童話研究部委員
- 入選作若干は本誌に掲載の上帶留或はピンを賞品として贈呈致します

尙御不明の點は往復がきにて本協會にお問合せ下さい